

雲の上のまち



広報

わかやま



久保谷森林セラピーロードもみじばし落成

令和2年度 一般会計予算〈P2〉

令和2年度施政方針 〈P3〉

梶原町の組織機構及び職員配置表 〈P11〜〉

春の人事異動 〈P14〉

新型コロナウイルス感染症への対策について 〈P14〉

...

etc...

4 月号
2020
〈令和2年〉
No.742

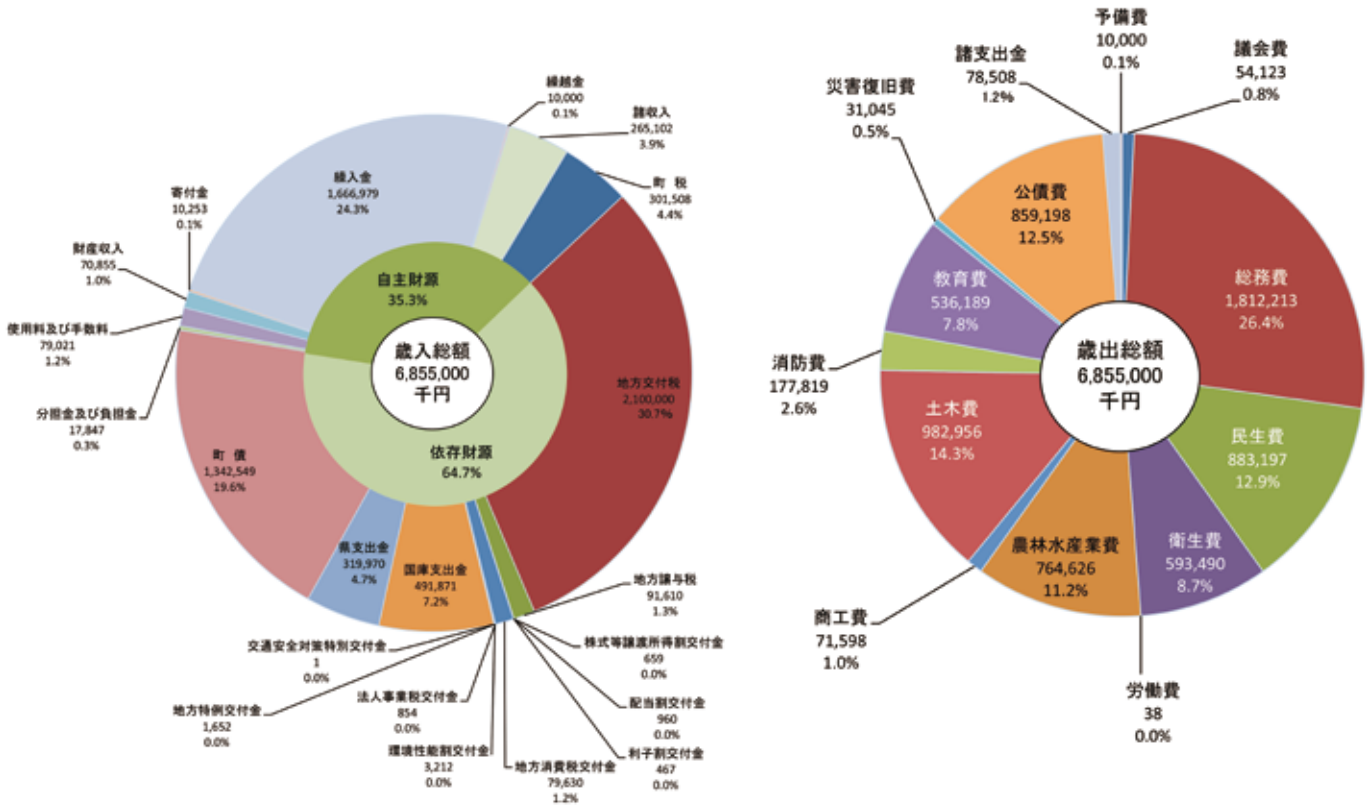
●世帯数／1,779 (2月末)
1,763 (3月末)
●人口／3,456 (2月末)
3,422 (3月末)
○出生… 0 ○死亡… 3
○転入等… 19 ○転出等… 50

令和2年度 一般会計予算 68億5,500万円

梶原町 一般会計当初予算の状況

歳入の状況

歳出の状況



▶ 令和2年度 一世帯当たり、一人当たりの予算状況

会計名	予算額(千円)	一世帯当たり予算額(円)	一人当たり予算額(円)
一般会計	6,855,000	4,394,231	1,899,945
松原診療所特別会計	20,100	12,885	5,571
四万川診療所特別会計	13,500	8,654	3,742
国民健康保険特別会計	555,000	355,769	153,825
後期高齢者医療特別会計	68,200	43,718	18,902
介護保険事業特別会計	562,000	360,256	155,765
簡易水道事業特別会計	126,600	81,154	35,089
農業集落排水事業特別会計	35,900	23,013	9,950
下水道事業特別会計	96,100	61,602	26,635
風ぐるま事業特別会計	81,700	52,372	22,644
病院事業会計	666,916	427,510	184,843
計	9,081,016	5,821,164	2,516,911

令和2年度施政方針



まず、施政方針に入る前に、新型コロナウイルス感染症について

でございますが、この新型コロナウイルスは、昨年11月下旬に中国湖北省武漢市で発生したとされており、水際で食い止めようとしておりましたが、食い止めることができず、現在もお感染が拡大しているところです。

3月4日現在では、国内315人、クルーズ船、チャーター機あわせて72人と1,000人を超える感染が確認されております。発生後において、しばらくの間は四国内での感染が確認されておりませんでした。2月25日に徳島県で初めて確認され、その後2月29日には高知市でも感染が確認され、さらに県内での感染が拡大しているところがございます。また、3月2日には愛媛県でも感染が確認されたところでございます。感染さ

れた皆様の早期の回復と感染拡大の収束することを祈るばかりです。

なお、本町においては、現在まで感染者及び濃厚接触者についての確認はされておりませんが、感染経路が不明な状況ですので、個人個人での感染予防に十分努めていただきますようよろしくお願いいたします。

はじめに

平成から令和に時代が移り、いよいよ本格的な令和の時代がスタートいたしました。

昨年10月22日、今上天皇陛下は、即位礼正殿の儀において、「国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、憲法のつとめ、日本国及び日本国民統合の象徴としての務めを果たすことを誓います。国民の叡智とたゆみない努力によって、わが国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好

と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望いたします」と述べられました。

この令和という時代に込められている、「麗しく和やかな時代」。そして、その令和を手話で表す「指先をゆつくり開きながら前に出す動き」にもあるように「春先に蕾が開いて花が咲き、未来へ向かい進んでいく」という思いを胸に、町づくりを進めていくうえで、この令和を生きていく私たちがするべきことは何か、しっかりと考え、取り組み、この町に花を咲かせ将来に伝えていきたいと考えているところでございます。

誰にも負けない思いを馳せる

平成29年12月に町長として就任させていただきました。2年の月日が過ぎました。就任早々、自らの不注意により、大けがをして入院を余儀なくされ、皆様には大変なご心配とご迷惑をおかけしました。その後よりハビリなど様々な面で多くの皆様にお世話になりながら経験しましたことは、貴重な経験と

して今後の取り組みに生かしていきたいと考えております。このよ

うな2年間でしたが、その間に、就任前からの思いである、この町、そして、この町に住む人々が幸福感に包まれ輝きながら生き生きしている、そんな町づくりの基本的な方向性について、思いを巡らし、第7次榑原町総合振興計画と第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に取り組んでまいりました。

子々孫々に幸せな暮らしをつなぐ理想郷・榑原へを基本理念としてこの町の将来を描いたものでございます。そして、10年後の2029年の姿（地域ビジョン2029）を、感情や身体、精神そして環境や社会的といったあらゆる健康を基盤としたうえで心豊かな暮らしをイメージした「ウェルネス ゆすはら」の実現とし、「町民の皆さんがそれぞれの生きがいや幸福感を感じながら安心して、安全に暮らすことのできる町」を目指して取り組んでまいります。

このビジョンを実現するため、世界共通の課題となっている「少子化」「高齢化」など「人口問題」についても経済や社会保障などと

解決していくのか、課題の先進地域であるからこそ「世界の課題解決先進地域として経済を再生し、自然とともに豊かな町民生活を実現する」ことを目指し、町民の皆さんが笑顔で過ごせる町づくりに取り組んでまいります。

役場組織を老化させるのではなく、前をむいて進化（新化、深化）

私たちを取り巻く社会環境は日々変化しており、そのスピードにはただただ驚き、社会の変化を敏感にとらえ、迅速に反映しながら必要な変化や進化を遂げていくことが求められる時代となっていくことを日々の様々な出来事の中で改めて感じているところでございます。これまで、環境の町、福祉の町、隈研吾氏の建築群など、様々な面でトップランナーと言われる、多くの視察者の皆さんをお迎えしてきた梶原町ですが、ややもするとこれまでの成果に落ち着き、さらに進化するエネルギーが薄れてきたのではないかと反省しているところでもございます。改めて、前を向き、勇気をもって進化するため昨年12月定例会におい

て、組織機構の見直しをさせていただきました。

新たな産業づくりに向けた準備にも取り組んでいきたいと考えております。本町の資産や自然資源を守り、育て、生かしていき、一人でも多くの若者が残れる町、学問や仕事を求めて都会に出ていった若者が帰ってくるのできる町、梶原町の魅力にひかれて転入してきたくなる町。そういった町民の皆さんがこの町にさらに愛着を持ち、喜びを感じ、笑顔で暮らせることで、さらに多くの皆さんにお越しいただき、それが経済に結び付き、心豊かな暮らしにつながる町づくりを進めるためにも、この町の宝やこの町でそれぞれの皆さんが守り伝えてきた生業を守り育てるとともに、新たな生業が生まれるよう種をまいていきたいと考えております。そして、その種が蕾となり、その蕾をふくらませ、花を咲かせ、未来に向かって進んでいけるよう、町民の皆様をはじめ多様な関係者の方々と一丸となり信頼しあい、力を合わせ和の心を持って町政に臨んでまいります。

国・県の動き

国政では、令和2年度一般会計予算、総額102兆6千580億円が審議されています。この一般会計予算のポイントは、全世代型社会保障制度の構築に向け、消費税増収分を活用し、高等教育の無償化と予防・健康づくりの取り組みなど医療・介護分野の事業を推進し社会保障の充実を図る一方、経済対策を着実に実行していくため、臨時・特別措置の予算を計上し、東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上を図り、個人消費や投資を切れ目なく下支えしていく予算となつていきます。また、財政の健全化の面では、「新経済・財政再生計画」の下、歳出改革の取り組みを継続し、国債発行額を8年連続で縮減するなど、国・地方を合わせたプライマリーバランスの黒字化を目指していく内容となっております。こうした取り組みを実施していく中、本町の財源を大きく左右する地方交付税等交付金については、前年度比1・1%の減額と

なっており、財源の確保や歳出の抑制を図るなどの対応が求められています。

県政では、昨年12月、新たに濱田省司知事が就任され、尾崎前知事の政策を引き継ぎ、県政浮上に必要な施策を着実に実行しながら、さらに成果にこだわるとし、今後の財政運営をも見据え、令和2年度一般会計予算額は前年度対比0・5%、25億円の増額となる4千632億円となっております。中でも、前年度に引き続き、国の「3か年緊急対策」等を最大限に活用し、防災・減災に資するインフラ整備を加速するとともに、これまで進めてきた5つの基本政策である「経済の活性化」「日本の健康長寿県づくり」「教育の充実と子育て支援」「南海トラフ地震対策の抜本的強化・加速化」「インフラの充実と有効活用」と、3つの横断的な政策である「中山間対策の充実・強化」「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」「文化芸術とスポーツの振興」を継承するとともに、施策の実効性を高めるよう発展させていく一方、国の有利な財源の活用や

スクラップアンドビルドの徹底により財政の健全化を確保しながらも12年連続の積極的予算となっています。

こうした、国や県の動向を踏まえ、第7次梶原町総合振興計画、また、第2期梶原町まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に取り組み着実に実行している予算編成としておりまして、一般会計予算は、前年度対比3・6%増の68億5千500万円となり、11特別会計を合計いたしますと、単純合計で前年度比3・2%増の10億9千800万円余の予算規模となりました。

第7次梶原町総合振興計画及び第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で目指す梶原のすがた

第7次梶原町総合振興計画の地域ビジョンの細かなイメージいたしましたし、

①人口減少社会にあっても皆が助け合い支え合いながら地域課題の解決に取り組む、安全、安心な生活、社会環境づくりを進めるとともに、豊かな自然環境を守り、生

かして町民一人ひとりの心と体の健康が保たれている。

②町民一人ひとりが健康を保ちながら幸福の追求や自己実現に取り組み、輝く笑顔と活力に満ちた心豊かな暮らしを送っている。

③心豊かな暮らしを送る人々が住まう梶原が魅力にあふれ、世界に役立ち支持され選ばれることを通じて経済が再生されている。

そういう梶原町を目指しております。その実現に向けて令和2年度に取り組みます内容につきまして、6つの目指す社会ごとに申しあげます。

「梶原ならではの保健・医療・福祉・介護が充実した社会」 **健康**

少子高齢化がますます進行していく中で、持続的な財政運営を行いつながり、山積する課題を解決していくかねばなりません。

そのためには、行政だけでなく、住民の皆さんと信頼関係を築きながら、課題を共有し一緒になって取り組んでいくことが重要となります。時間と手間はかかりますが、梶原ならではの切れ目のない支援

が実施していけるよう、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、何事も前向きに考え、「町民のみなさんがそれぞれの生きがいと幸福感を感じ、笑顔のあふれる町づくり」を目指していきます。

○地域福祉の充実

これまで、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるようハード・ソフト両面から、町民の願いの実現に向けた仕組みづくりを行い、住民の皆さんと行政・関係団体が協働で取り組んでまいりました。様々な事業を現在進行形で取り組んでおりますが、令和2年度は、「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」「障害者計画・障害者福祉計画・障害児福祉計画」「健康長寿の里づくり計画（健康増進計画）」の最終年度を迎えることから、これまでの成果を意識しながら地域福祉の充実に向け取り組むとともに、効果検証を基に次期の計画策定を進めてまいります。

○地域医療体制の充実

町民の命を守るために、令和2年度も5名の医師を確保すること

ができ、小児科医を含めた梶原病院を中心に、松原・四万川両診療所、梶原歯科診療所及び梶原町社会福祉協議会、さらに6つの集落活動センターとの連携により治療活動の充実と予防活動に積極的に取り組んでまいります。

また、昭和58年3月に竣工した梶原歯科診療所の施設については、竣工から37年が経過し、老朽化による多額の修繕費用も予想されますことから、令和2年度に建設地も含め検討し、医療体制の充実を図ってまいります。

○高齢者福祉の充実

平成30年4月にオープンいたしました複合福祉施設2階のケアハウスにつきましては、常時満床の状態で待機者が増えている状況であります。一方、3階の生活支援ハウスについては冬場の利用率は高いものの夏場の利用率が低い状況となっております。

ケアハウスの待機者解消のため、生活支援ハウスをケアハウスへ転換することは可能であります。生活支援ハウスの冬場の稼働率は70%から80%となっております。



ケアハウス

生活支援ハウスを利用している方の居場所の確保についても同時に検討しなければなりません。

また、ケアハウスに転換しますと介護保険事業所となり、今後、3年間の介護保険料にも影響をおよぼすこととなるため、「第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定と合わせて、関係機関や策定委員会と慎重に協議を重ねてまいりたいと考えております。

○健康づくり

国保の特定健診受診率は約78・0%と高く、健診は受ける

べきものとして町民の皆様の間に着定しています。これは、長年取り組んできた健康推進員制度により町民の皆様が真剣に取り組んでいたいただいた成果です。健診を受けることで早期発見・早期治療につながっており、本町の後期高齢者医療の一人当たりの医療費は、県平均額よりも低く推移しています。

しかし、国保の一人当たりの医療費は依然として上昇傾向にあります。高額療養費につながる疾病の多くは生活習慣病が関係しています。特に糖尿病が重症化して高額療養費の支給につながっており、患者さんの不安や、つらさを軽減するとともに、医療費の抑制を図るため、生活習慣病の改善を行い、糖尿病の重症化予防に取り組む必要があります。

現在取り組んでいるヘルスアップ事業を進め、運動と食事の習慣を改善し、筋力アップを図りHbA1c値(注1)を低くしていく取り組みを行います。

また、学童期にHbA1c値が高い傾向にあることも分かったことから、教育委員会や榊原学園とも連携をし、保護者の皆様に情報



エプロン会の皆さんと学園生徒の交流

を提供しながら、子どもたちの健康づくりについても、健康文化の里づくり推進員やエプロン会の皆様にも協力をいただきながら、子どもの頃からの食生活の改善を図り、その親の世代も巻き込みながら、若い頃から健康な身体づくりを意識してもらい、健康的な生活を営んでもらえるような地域を目指します。

(注1) 1ヶ月の平均血糖を表す値

○「命の道」の整備促進

山間地に位置する本町にとりましては、道路は命を守るうえで非

常に重要なものであり、私たちがこの地で生き続けるために最も重要な社会基盤であります。それはまさに「命の道」となっております。

「命の道」の整備は住民の皆様への安全、安心な暮らしの実現に大きく寄与することから、国道197号「野越バイパス」の整備促進、町道佐渡鷹取線改築工事及び国道439号鷹取から中平区間の早期完成に向けて積極的に取り組んでまいります。

また、主要地方道城川榊原線宮野々工区、主要地方道中平榊原線初瀬工区及び県道上郷榊原線下本村工区においては、現在着手していただいております区間の整備促進を図りつつ、未着手区間についても新たな工区設定をいただき切れ目のない整備効果発現が図られるよう要望活動にも努めてまいります。

さらに、生活道である町道等につきましても引き続き新規路線開設や改良等、継続的な整備を進めてまいります。

○生活交通手段の確保

「命の道」の整備促進に取り組みとともに、地域の生活交通施策から町のあり方を真剣に考えなければならぬ時期であります。そうしたなかで、本町に住む町民目線で成り立つ交通施策について、専門家の知見も含め検討しているところです。

ご自身又は家族の自家用車と公共交通機関が混在するなか、本町のような山間地域では、大半の方が自家用車での移動となっており、人口減少が進むにつれ、さらに公共交通機関の利用者が減少している状況であります。

高齢者の方などと共に、自分たちにあった自分たちのための気軽にご利用できる公共交通サービスを考え、利用していただき、継続させていけるよう進めてまいります。

【自信あふれる梶原人を育てる教育の確立した社会】

教育

次代を担う子どもたちが梶原人として21世紀をたくましく生き抜く力を育むために、学校、家庭、

地域、行政が役割分担を明確にしながら、基礎・基本を大切に、安全で安心した生活のできる環境づくりと地域ぐるみの教育を基本とし推進してまいります。

○保幼小中高の一貫教育の推進

子育て施策におきましては、令和2年から6年度までを計画期間とする「第2期梶原町子ども子育て支援事業計画」により、保育の受け皿を確保するとともに、質の高い教育・保育を安定的に提供していくため、人材の確保及び保育士の資質の向上を図るなど、子育て支援事業を総合的かつ計画的に推進してまいります。

学校現場では、来年度よりアクティブラーニング(主体的な学び)の視点が盛り込まれた小学校の新学習指導要領が完全実施となり、プログラミング教育などが新たに導入されます。

国は、補正予算により令和5年度末までに小中学校で1人に1台の端末整備と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するGIGAスクール構想を打ち出し、ICTを活用した教育環境整備に取り組んで

いく方針を固めました。これにより、ICT教育に先駆けて取り組んでまいりました本町も、これから5年先、10年先を見据えた人材育成を行っていくため、国の交付金を活用しながら更なる教育環境の整備を予定しております。

また、令和2年度は梶原学園開校10周年を迎えます。一貫教育の特色をさらに生かした教育の充実に一貫教育支援センターを中心として取り組んでまいります。さらには、現在建築中の共同調理場が本年夏に完成予定であり、子どもたちは2学期より新調理場での給



運動会の様子 (こども園)

食が始まります。新たな施設においても引き続き、栄養バランスのとれた安心安全な学校給食の提供に努めてまいります。

本町最高学府である梶原高校を核とした地域活性化と移住定住促進を目的とした、多目的宿泊施設、(仮称)生涯学習交流センターの建設事業を行います。高校の存続は地域の存続と直結しております。県立梶原高校と住民・行政の連携をさらに深め、「魅力ある梶原高校づくり」を支援してまいります。

○人生100年時代の学びのあり方

学校教育課程にあっても先ほどのとおり今の時代に必要なが学べるように大きな変革が行われようとしております。学校教育だけでなく、私たちも高齢者の方々も、今、生きていく時代、そしてこれからの時代、変化のスピードがどんどん速くなってまいりますので、人生のはじめのころの20年近くを学校で学んだことだけでは乗り切ることができなくなっています。長く、そして豊かな人生を送るためには、「学び続ける」

ということが必要になってまいります。そのためにも子どもも大人も本に親しむことができ、生涯学び続ける学習の場としての図書館の充実を図ってまいります。

また、イベントの開催や広域活動の拡大など、人と人をつなぐ交流の場としても図書館の有効活用に取り組んでまいります。

**【次世代へより良い環境を
引継ぐ社会】 環境**

○環境モデル都市の取り組み推進

本町には、これまで先人から引き継いできた美しい自然環境があり、住民の皆様の高い環境意識によって、それは保たれてきております。今後も変わらぬ姿で後世に引き継いでいく必要があります。そのため、森林整備と森林資源の循環利用促進、「梶原町廃棄物減量等推進委員」の方々の取り組みを中心としたごみの分別・減量化、四万十川源流域の清流を保全するため合併浄化槽設置補助のより一層の推進を図ります。

また、新たに木質バイオマス発電や地域循環の仕組みづくりの一



四国カルスト台地の風力発電施設

環として地域新電力の取り組み検討、四国カルストに設置してある風車の更新を行うといった取り組みにより脱炭素社会を目指し、2050年に電力の再生可能エネルギー100%の実現に向けて取り組んでまいります。

○災害を未然に防ぐ整備促進

昨年は、観測史上最も遅い梅雨入りと梅雨明けの中で梅雨前線による豪雨や台風15号と台風19号の襲来や頻発する地震により、日本列島全体が甚大な被害をこうむりました。

犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての皆様に心からお見舞い申し上げます。早期の復興をお祈り申し上げます。

こうした、これまでの常識では測れないほど突如として発生し激甚化する災害を未然に防ぎ、住民の皆様のお安全・安心な暮らしの確保を図るために、防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策に基づく道路ストック修繕や法面対策を実施するとともに、住家裏のがけくずれ対策や木造住宅耐震化、危険木除去といった取り組みをより一層推進してまいります。

また、国土強靱化地域計画策定に向けリスクシナリオ等の取りまとめ整理を行い、国土強靱化推進に向けて取り組んでまいります。

**【魅力ある生業の創出と地域を支える
産業が発展した社会】 産業**

安心して暮らせる産業の振興・発展は、本町の重要なテーマであります。

そのために、梶原町森林組合、梶原町商工会、高知県農業協同組

合（梶原支所）をはじめ、町内の各種企業・団体との連携はもとより、「ゆすはら産業担い手育成塾」ともしっかりと連携し、人材育成をはじめ、生産から、加工、販売までのそれぞれの生きる仕組みづくりの確立に向かって積極的に支援してまいります。

本町は、これまで様々な事業に取り組んできた結果、国内外から多くの視察や観光のお客様にお越しいただく町となってきました。しかし、こうしたお客様をお迎えする仕組みが充分とは言えない状況でもあります。そうしたことを踏まえ、昨年来、観光協会との設置について検討してきたところがございますが、観光という視点をもっと広く大きく芸術・文化等様々な面を含めた交流という視点へ舵をきり心豊かな暮らしを実現することに取り組んでまいります。

**○付加価値の高い
農・畜・林等一次産業の振興**

農業は、少子高齢化の影響により生産力の低下が否めませんが、やる気のある農家の規模拡大や新



四国カルスト牧場

規参入者に対しては、J A高知県と連携し、新たに簡易雨よけへの補助も行い、しつかり支援してまいります。

さらに、令和元年から町の新たな施策として、民間企業との協働によるワイン事業へ取り組んでおります。令和2年度も、引き続き梶原の新たな特産品やお土産としての可能性を検討してまいります。

畜産については、一般社団法人津野山畜産公社の経営規模を拡大し、「カルスト牛」のブランド化や民間企業と連携した販売促進を

行い、畜産農家への公社を通じた支援を実施しながら、経営の安定化を目指してまいります。

林業では、山林所有者の森林管理の責務を明確化し、適正な森林管理を図ろうとする森林経営管理制度、間伐などの森林整備や木材利用の促進のため県・市町村に交付される森林環境譲与税の制度が始まりました。

このような流れは、森林が国民の財産であり、適切な森林整備を行うことが、木材の利用だけでなく、水源かん養機能や二酸化炭素の吸収と炭素の固定による森林の働きを保ち、地球温暖化防止機能を始めとした多様な機能を有する森林の恩恵を受けていることが広く認められたことと考えております。

本町は、これまで森林の恩恵を得、こころ豊かな町民の生活が営まれ、森林と水を始めた自然の恩恵を享受し共生し発展してきました。この先人たちが育んだ豊かな森林を守り活かしていくことが、大切と考えております。

令和2年度には森林の文化創造推進課を新設し、担い手育成を始

め、本町の森林を伐って植え、森林資源の循環が円滑にできる仕組みづくりや林業経営の安定を図るための支援体制を整備してまいります。

そして、確実に推進していくため、環境先進企業であり梶原の森林づくりにご協力いただいております矢崎総業株式会社、森林づくりに知識と経験のある梶原町森林組合と共にゆすはらの森林づくりに取り組んでまいります。

また、平成13年度より間伐の推進として実施してきました水源地域森林整備交付金事業については、森林づくり推進交付金に改称し、恒久的な財源である森林環境譲与税を充てながら、間伐のみならず皆伐後の植栽にも交付金を交付することにより本町の豊かな森林づくりを行っていききたいと考えております。

この他、FSC森林認証材である梶原産材の良さを広め、町産材のさらなる利用促進を図ることに より、梶原町の林業振興につなげてまいります。

○商工観光産業の振興

商工業・観光においては、隈研吾氏の建築群を観光資源として活用し、令和2年度に隈研吾の小さなミュージアムを開館します。それに合わせまして、町内の隈研吾設計の建築の観光案内ガイドを開始し、新国立競技場設計をきっかけに増加している隈研吾設計の施設見学を目的とした国内外からの観光客への対応を充実させるとともに、お土産品の開発も進めてまいります。

また、年間通じて開催される各



雲の上の図書館

種イベントについても、過去を検証するとともに費用対効果を考え、見直しを行ってまいります。

観光交流案内所まろうど館も開館7年目となり、今後さらに充実した運営を行っていただくよう商工会とも連携して、梶原を訪れていただく方をしっかりとおもてなしの出来る体制としてまいります。

【助け合い支え合いながら暮らす社会】

○自立する集落活動センター

早くから人口減少が進んでいる本町では、現在、地域の高齢化により今までにない問題や課題が噴出している状況であります。このような状況を解決していくために各地区に集落活動センターを設置し、住民の皆様により事業が展開されており、住み慣れた地域で、助け合い支え合いの心のもとに自立し暮らしていける体制としてまいります。

○地域防災意識の向上

地域防災は、「自助」「共助」が基本となっております、



防災訓練の様子

守る自助や自主防災組織みんなが助け合い支え合う共助は、大切なことであります。しかし、いついかなる時に起こり得るか予想のつかない災害に対しては、その場その場で近くにいる人が頼りになってまいります。みんなが助ける共助とともに、互いに近くにいる人が近くにいる人を助ける「互近助」の支え合いが不可欠であります。そのためにも、とかく陥りやすい「自分だけは大丈夫」という気持ちではなく、万が一の時でも近

くにいる人を助けられる備えと意識を一人ひとりもち、高めていき、その意識の積み重ねによる全体の地域防災意識の向上のため、防災アドバイザーを中心に社会福祉協議会及び地域包括支援センターと共に、部落及び職場単位などでの防災教育に取り組んでまいります。

【世界の人々とつながり支持され選ばれる社会】

つなぐ

現在の日本、地域社会は、経済や人の往来をはじめ、インターネット等により様々な分野で世界と容易につながることでできる社会となっております。梶原を訪れる外国人観光客の姿を見る機会も多くなってまいります。そのことにより他国の文化の良さを享受できるとともに、本町の良さを見直すことのできるきっかけにもなっております。しかし、たくさんの魅力があるのに対し、それをアピールすることが不十分であることも事実であります。

今を生きる本町の独自性を大切にすること、国際社会の中でも光り輝くことのできる課題解決の

フロンティアとして、世界とも対等で有意義な関係を目指してまいります。

私にとりまして、任期の半分が過ぎました。任期の長さは変えることはできませんが、任期中に思いをもって取り組むことで、その幅と深みを変えることはできません。私は前半の2年間で多くの知識を得ることができました。政策に著作権はございません。本町に住む町民にとって良いと思うものは、どんどん真似をしていきたいと思うと同時に、ひとりでは「いい仕事」は生まれません。ですので、議員のみなさんをはじめ町内各種団体、地域の方、そして職員と共に知識を知恵とし、すぐそこまで来ている未来を便利に活用できる環境づくりと今を生きる大切さを認識し、「町民のみなさんがそれぞれ生きがいや幸福感を感じながら、安心して安全に暮らすことのできる町」「ウェルネスゆすはら」を目指してまいります。

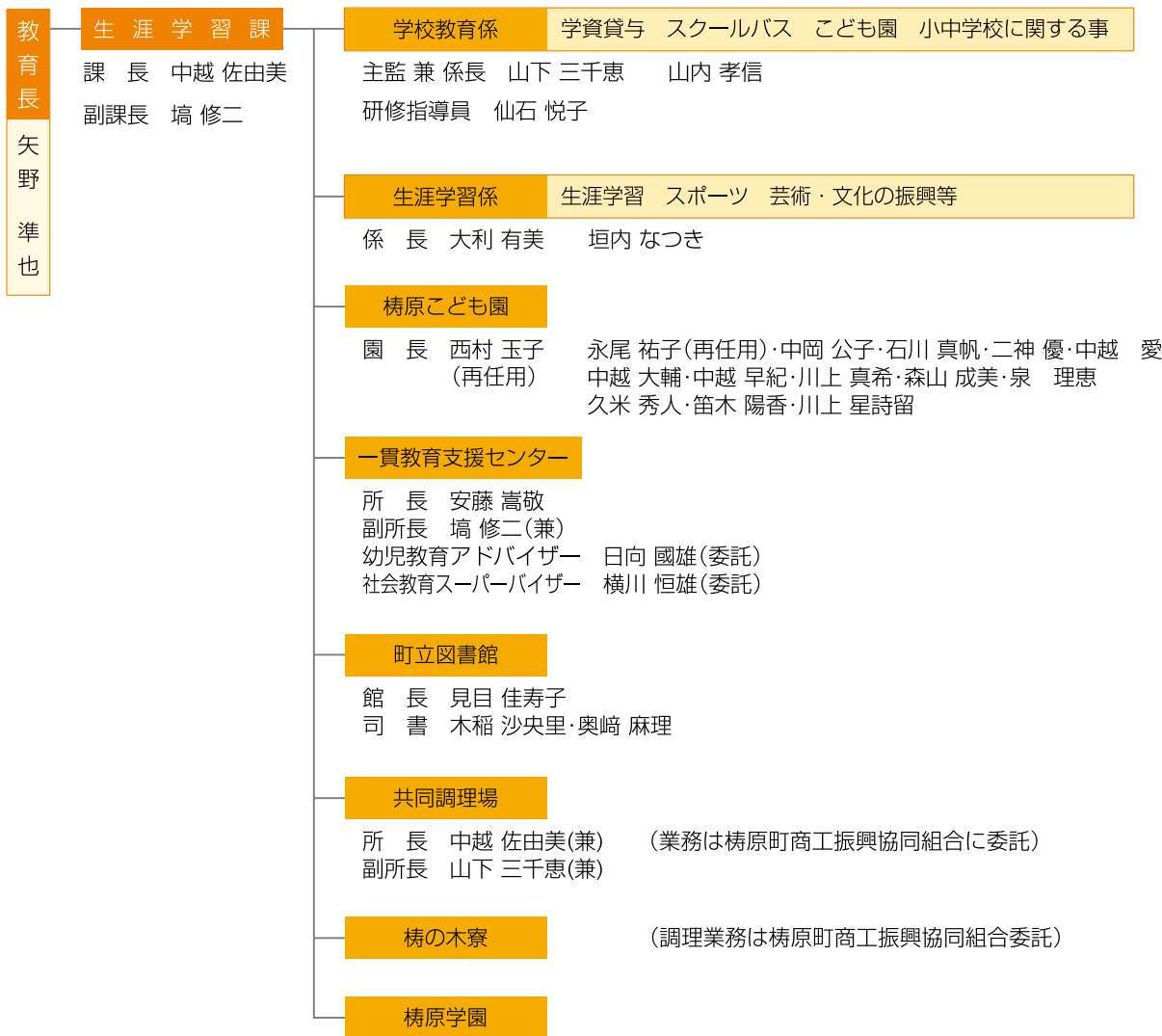
栲原町の組織機構及び職員配置表

R2.4.1 現在



教育委員会等組織機構及び職員配置表

R2.4.1 現在



選挙管理委員会 — 事務局
局長 二宮 健志(兼) 立道 直美(兼)・山本 智也(兼)・北村 明日香(兼)・辻本 修丞(兼)

監査委員 — 事務局
局長 大川 真一郎(兼)

農業委員会 — 事務局
局長 来米 修作(兼) 川村 幸司(兼)

固定資産評価審査委員会

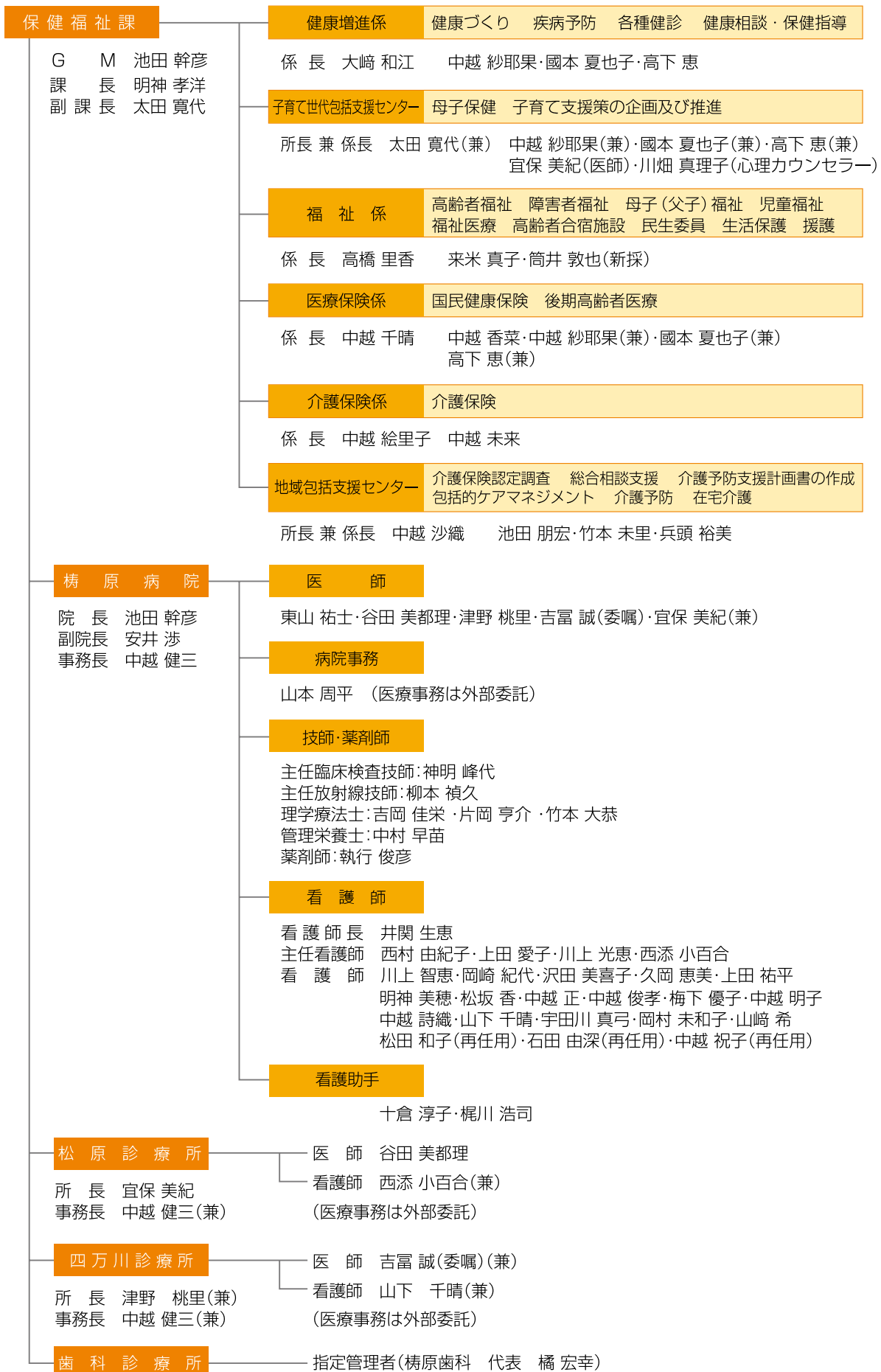
退職者・転任者等

令和2年3月31日付で、下記の方が退職・転任されました。

- | | | |
|-----|-----------------------|-------------------|
| 退職者 | ●岡上 奈布 (総務課) | ●松田 和子 (梶原病院 看護師) |
| | ●入交 信太 (産業振興課参事) | ●中越 朋子 (梶原病院 看護師) |
| | ●北村 亘 (副院長) | ●石田 由深 (梶原病院 看護師) |
| | ●川澤 和郎 (梶原病院 主任理学療法士) | ●中澤 彩花 (梶原病院 医師) |

保健福祉支援センター・栲原病院組織機構及び職員配置表

R2.4.1 現在



春の人事異動

栲原学園

【小学校の部】

○転入

(教頭)

小野川美和子 (仁井田小より)

(教諭)

柳本 静代 (加茂小より)

白神 拓実 (採用)

今出 優香 (採用)

○転出

(教頭)

山崎 康祐 (横浜新町小へ)

(教諭)

福留 裕美 (興津小へ)

宮本 愛美 (秦小へ)

(養護教諭)

志手 志乃 (葉山中へ)

(講師)

北代 優太 (中央小へ)

【中学校の部】

○転入

(教諭)

森田 彩子 (久礼中より)

石田 沙弥 (香長中より)

田岡 利紗 (高岡中より)

寒川 友 (採用)

小松未沙貴 (採用)

富澤 法明 (再任用)

(事務)

松下 学 (須崎市立南小より)

(講師)

矢野慶志郎 (須崎市立南中より)

楠瀬 沙野 (南海中より)

○転出

(教諭)

柴岡 理恵 (片島中へ)

松原 朋香 (市立中村中へ)

橋元 大地 (県立高知南中へ)

熊岡 璃星 (高岡中へ)

(事務)

岡村 龍誠 (橋上小へ)

(講師)

森田 啓 (西部中へ採用)

栲原高等学校

○転入

(教諭)

津田真由佳 (高知東高校より)

長崎 佑輝 (中村高校より)

矢野 真海 (採用)

(事務長)

吉田 有希 (高知北高校より)

(技師)

常石 裕子 (再任用)

(講師)

宮本 雄太 (清水高校より)

門田 耕治 (高知追手前高校より)

溝渕 康介 (栲原高校再任)

○転出

(教諭)

松岡 光信 (高知小津高校へ)

大崎 秋奈 (須崎総合高校へ)

吉松 望 (山田高校へ)

畑山 ふみ (高等学校課へ)

(事務長) 長岡さおり (江の口特別支援学校)

(主任技師) 常石 裕子 (栲原高校退職)

(講師) 橋村 大志 (高知西高校へ)

石川 昂平 (高知南高校へ)

新型コロナウイルス

感染症への対策について

現在(4月1日)、新型コロナウイルス感染症については、クラスター感染が次々と報告され、全国的に感染者が急増している状態です。

そうした中、栲原町役場では2月28日に新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、感染予防について対応をはかっているところ

です。これまでの学校の休校や図書館の休館、栲原病院の発熱者外来診療に伴う松原・四万川の両診療所の休診日設定など、町民のみなさんには、ご迷惑をおかけしとおります。

また、各種行事については、町

図書館からのお知らせ

栲原町立図書館(雲の上の図書館)は、3月3日から当面の間、休館しておりますが、4月1日からホームページ・電話で予約いただいた方への貸し出し業務を開始しております。(平日9時から18時まで)
※今後の状況次第で変更がありますので、ホームページ等でご確認ください。

栲原町立図書館(雲の上の図書館)

☎65-1900
<http://kumonoue-lib.jp>



民を対象とした催しであれば、規模を縮小しての実施であったり、自粛をさせていただいております。今後においても、状況を見ながら、判断させていただきます。

さらに役場職員の対策としては、手洗い・うがいの感染症予防はもとより、出張や町主催の多数での会合や宴席は極力控えるようにしており、勤務にあたっては、マスクの着用を心掛けるようにしております。

最後に、ウイルス感染は、ご本人の意思で行われたものではありませんので、不安や恐れから心無い言葉を発するようなことはなく、思いやりの心をもって、この不安と危機に対応していきましよう。

総務危機管理係

久保谷森林セラピーロード もみじばし落成式開催

3月8日(日)、久保谷森林セラピーロードに完成した歩道橋「もみじばし」の落成式が開催されました。この歩道橋は、松原区、まろうど会が取り組む森林セラピーロードの機能を高めるとともに、観光交流資源として活用を促進するため、本ロードの間地点から対岸に渡れるように



渡り初め



神事



記念植樹2



記念植樹1

整備されたものです。本歩道橋の整備により、これまでの散策コースに加えて、中間地点からセラピーロードへのアクセスが可能となり、利用者のさまざまなニーズに対応できるようになりました。

当日は、松原区民約20人の出席のもと、安全祈願の神事を執り行い、その後、名称看板の除幕、出席者全員による渡り初めを行い、地域の子どもたちも参加して、モミジとミツマタの記念植樹を行いました。

植樹された木々の成長とともに、松原区、まろうど会の皆様の取り組みが多くの方々に森林の癒しと安らぎを与えていくとともに、松原区並びにまろうど会の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

産業振興課

※本植樹事業には、みどりの募金が活用されています。

布マスクを配布 デイサービスゆるりへ



利用者は、マスクを着けて安心してサービスを受けることができている

新型コロナウイルス感染症予防対策として、食事・入浴といった日常生活に必要な介護や体操・レクリエーション、機能回復訓練の提供を受けている高齢者が集う、デイサービスゆるりへ町がマスク200枚を配布しました。

マスクが購入できるわけではなく困っていたところだったので助かりました。」と感謝していました。

また、利用者も不安の解消につながり、デイサービスでの活動を楽しみ、サービスの提供を喜んでいました。

なお、今回配布した布マスクは「梶原竹ぼうきの会」が作ったものであり、町内には、梶原竹ぼうきの会のほかにも、太郎川のふるさと市場(横山さん)でも布マスクの販売を行っています。

施設長の芝田さんは、「サービスの質を確保したいが、思うように



太郎川ふるさと市場
(横山さんのお店は国道から2番目)

梶原学園だより VOL. 94

梶原学園 卒業証書授与式

【巣立ちの春】

小中一貫教育校梶原学園の卒業証書授与式が行われ、卒業生が巣立っていききました。中学校は、3月13日（金）に、小学校は、3月19日（木）にそれぞれ行いました。今年は新型コロナウイルスの影響で、式は縮小を余儀なくされました。厳かな雰囲気の中で、校長先生より一人ひとりが卒業証書をいただきました。小・中学校同じ敷地内で生活を送り、様々なことを共有してきました。6年生は小学校の、9年生は学園のリーダーとして、立派に導いてくれました。小中合同



祝福を受け退場する6年生



式の後、教室で 9年生



卒業証書をもらう6年生

の運動会・ウエルカムコンサート・読み聞かせ・学習発表会など、それぞれの思い出を胸に4月から、新たな中学校生活・高校生活が始まります。ぜひ、これまで学んだことを活かして頑張ってくださいと願っています。

スキー研修（6年生）

2月21日（金）、6年生がスキー研修に行きました。行った場所は、愛媛県の小田深山スキー場（ソルファオダスキーゲレンデ）です。今年は暖冬でスキー研修の実施も危ぶまれましたが、奇跡的に2月中旬に雪が降り、スキー研修を行うことができました。ほとんどの児童が初めてのスキー体験ということで、最初は、スキー板の上立つこともままならず、悪戦苦闘の様子でした。しかし、インストラクターを務めてくれた西村さんたちのおかげで、みるみるうちに上達していききました。バランスがとれるようになるのと転ぶ回数が減ってきて、最終的には、全員がリフトを使い上から滑って降りてくる事ができるようになりました。子どもたちの見事な上達ぶりに感心しました。



全員で記念撮影

離任式

令和2年度の人事異動で梶原学園を去られる教職員の離任式が3月25日（水）に行われました。学園の在校生だけでなく、卒業生も参加して行われた式では、転出される先生から最後のお別れの挨拶がありました。

児童生徒と過ごした学園での日々を、きつと忘れることなく、新しい赴任校でも今まで同様にご活躍されることと思います。今までありがとうございました。

一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusuharagakuen.jp/>



栲原こども園だより



卒園おめでとう

3月24日(火)、卒園式があり、卒園児22名全員が出席することができました。新型コロナウイルスの関係で規模を縮小して開催しましたが、保護者の皆さんや来賓の方々に見守っていただき、一人ひとりが楽しかった思い出や夢を発表しました。

- 高橋ゆうな 「会社の事務をしたいです」
- 那須あきと 「ユーチューバーになりたいです」
- 森山しゅん 「大工さんになりたいです」
- 梶原あいと 「みどりの家で働きたいです」
- 中越こころ 「ケーキ屋さんになりたいです」
- 掛橋かんみ 「ユーチューバーになりたいです」
- 中越しずく 「幼稚園の先生になりたいです」
- 中岡ゆうり 「病院の先生になりたいです」

- 森山ことこ 「美容師になりたいです」
- 上田かえで 「ペットのトリマーになって働きたいです」
- 西川ゆうな 「ケーキ屋さんになりたいです」
- 関川たつみ 「消防士になりたいです」
- 佐喜しようじ 「丸味で配達をしたいです」
- 西村みお 「ケーキ屋さんになりたいです」
- 西村いちか 「アイスクリーム屋さんになりたいです」
- 山下まふゆ 「栲原病院で働きたいです」
- 大利みお 「スイーツ屋さん、ケーキ屋さんになりたいです」
- 正岡りな 「病院の事務で働きたいです」
- 高橋まさむね 「宇宙飛行士になりたいです」
- 森山こうすけ 「大工さんになりたいです」
- 木下ゆうた 「ユーチューバーになりたいです」
- 泉りんたろう 「役場でお仕事をしたいです」



卒園式に参加する予定だったYURURUの方々から、卒園児に手作りコサージュや卒園メッセージをいただき、卒園式にのぞむことができました。子どもたちへ向けてメッセージもいただき、いつも温かく見守っていただいています。

1年間、園生活をリードしてひっぱってくれたぞう組さん。小学校生活でも元気に頑張ってもらいたいと思います。



一部の記事はホームページでも見ることができます。
<http://www.yusuharakodomo.jp/>

スクールガードリーダー交替

梶原町教育委員会では、子どもたちが安全で安心して学校に通えるよう、学校や通学路等の巡回を行うって、事件や事故に遭わないように見守りを行うために、平成21年度からスクールガードリーダーによる巡回指導を行っています。

この度、11年間スクールガードリーダーとしてご尽力いただきました久岡健市氏が退任されました。長年大変お疲れさまでした。

4月より、今井久光氏（下西の川）が就任され、これから梶原町の子どもたちを見守ってくださいます。

今井さんは趣味の剣道が5段の腕前で、これまで青少年育成に尽力されてきました。



今井 久光氏

「カード」が替わります

日ごろは、梶原町愛町スタンプ会加盟店をご利用頂きありがとうございます。

現在、皆様にご利用いただいている「むらさき色」のカードは7月1日より「青色」の新カードに替わります。

お手持ちの「むらさき色」のカードは6月30日までになるべく満点にしてご使用いただきたく思います。6月30日においてまだ満点でないカードは7月1日～8月31日までの期間に加盟店にてポイントを「新カード（青色）」へ移行します。ご利用される店舗へご遠慮なく相談してください。ご協力をお願いすると共に今後とも愛町スタンプ会をよろしくお願いたします。

梶原町愛町スタンプ会



7月1日より「青色」の新カードに替わります



戦没者等のご遺族の皆様へ
第11回特別弔慰金が
支給されます

○特別弔慰金の概要

今日の我が国の平和と繁栄の礎となった戦没者等の尊い犠牲に思いをいたし、国として改めて弔慰の意を表するため、戦没者等のご遺族に国が特別弔慰金(記名国債)を支給するものです。

○支給対象者

戦没者等の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日(基準日)時点で、『恩給法による公務扶助手』や『戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金』等を受ける方(戦没者等の妻や父母)がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給されます。

- 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得した方
- 2 戦没者等の子
- 3 戦没者等の
 - ① 父母
 - ② 孫
 - ③ 祖父母
 - ④ 兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかどうかにより、順番が入れ替わります。

- 4 1から3以外の戦没者等の三親等内の親族(甥、姪等)
 - ※戦没者等の死亡時まで引き続き1年以上の生計関係を有していた方に限ります。

○支給内容

【額面25万円、5年償還の記名国債】令和3年から令和7年までの5年間、毎年、償還日である4月15日以降に5万円ずつ支払いを受けることができます。

○請求期間

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで

※請求期間を過ぎると、第11回特別弔慰金を受けることができなくなりますのでご注意ください。

○必要書類

- 1 本人確認書類(運転免許証、運転経歴証明書、旅券、健康保険証等)
- 2 印かん(スタンプ印は不可)
- 3 請求者の戸籍抄本(令和2年4月1日時点のもの)
- 4 請求書類
 - ※請求書類等は保健福祉課に備えて付けています。

申請される方の状況に応じて異なりますので、ご相談ください。

【問合せ・請求窓口】

保健福祉課 福祉係

65・1170

不動産に関する無料相談

高知県宅建協会では、県内各地で無料相談会を開催しています。不動産、住まいに関する問題などさまざまな相談について、専門の相談員がお答えします。6月は須崎市で開催しますので、ぜひご利用ください。

【日時、会場】

令和2年6月17日(水)
午後1時～午後4時
須崎市立市民文化会館
(須崎市新町2丁目7番15号)

【問合せ先】

公益社団法人
高知県宅建物取引業協会
☎088-823-2001



「全国共通人権相談ダイヤル みんなの人権110番」

全国の法務局では、下記のとおり、全国統一の電話番号により人権相談を受け付けています。お気軽に御相談ください。

時間 ▶ 平日の午前8時30分から午後5時15分まで

電話番号 ▶ (ナビダイヤル) ^{ゼロゼロみんなの} **0570-003-110** ^{ひやくとおぼん}
※一部のIP電話からは御利用できない場合があります。

取扱内容 ▶ 差別待遇, 暴行・虐待, セクハラ・パワハラ, いじめ・体罰, 名誉毀損・プライバシー侵害等人権問題に関するあらゆる相談

その他 ▶ 相談は無料, 秘密は厳守します。法務局職員又は人権擁護委員が相談に応じます。



高知県中小企業耐震診断等支援事業費補助金のご案内

高知県では、南海トラフ地震対策として、従業員の命を守るとともに地震発生後の早期復旧につなげるため、県内中小企業者（製造業）が行う耐震診断や耐震設計などに要する費用を一部助成する補助制度を設けていますので、ご活用ください。



1 対象者

県内で製造業を営む中小企業者であって、BCPを策定している者

2 対象事業

- ①耐震診断
- ②耐震設計（建替設計を含む）

3 対象建築物

事務所・工場等で昭和56年5月31日以前に建築された建築物であること

4 補助率／補助限度額

- ①耐震診断：2/3以内／133.3万円
- ②耐震設計：2/3以内／200万円

5 補助要件

耐震診断及び耐震設計の内容に関し、四国耐震診断評定委員会等の評定を受け、適切と評価を受けること等

お問合せ先 高知県商工労働部商工政策課事業推進担当
電話 **088-823-9692**

令和2年度の
国民健康保険税率が変わります

国民健康保険は、病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者が国民健康保険税を出し合い、お互いに助け合う制度です。我が国の国民皆保険制度を支える医療保険であり、将来にわたり安定的に運営していく必要があります。

■国民健康保険制度について

国民健康保険について、以前は市町村が個別に給付費を推計し保険料負担額を決定していました。平成30年4月に国民健康保険制度の見直しが行われ、高知県が県内の市町村ごとの医療費水準や所得水準に応じて標準保険料率や国保事業費納付金の額を決定し、これを基に市町村が保険料負担額を決め、保険税を賦課・徴収するよう変更されました。

■保険税率の変更

本町では加入する皆さんの保険税の負担が大きくなるらないように、国民健康保険財政調整基金(以下「財政調整基金」という。)を

取り崩しながら対応してきましたが、被保険者が減少する中、高度医療技術の進歩などに伴い医療費が増えており、今後増加が見込まれる厳しい財政状況となっております。

こうしたことは、高知県内の多くの市町村の課題でもあり、本町も高知県から示された国保事業費納付金に基づき、平成30年度の保険税より残りの財政調整基金を取り崩しながら段階的に税率を改定していくこととなり、令和2年度においても税率の一部改定を行うこととなりました。

加入者の皆さんにご負担をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いします。

- (1) 0 ～ 39歳 / 国保税Ⅱ 医療保険分 + 後期高齢者支援金分
- (2) 40 ～ 64歳 / 国保税Ⅱ 医療保険分 + 後期高齢者支援金分 + 介護保険分
- (3) 65 ～ 74歳 / 国保税Ⅱ 医療保険分 + 後期高齢者支援金分 (介護分は介護保険料で納めます)

■保険税の軽減措置について

これまでどおり、所得が一定額以下の世帯には、国民健康保険税の負担の軽減を図るため均等割額、平等割額の軽減があります。(所得申告がされていない場合は、軽減の対象となりません。)

【問合せ先】

国保資格について
保健福祉課 医療保険係
☎ 65・1170

国保税について
総務課 税務係
☎ 65・1111

区分		改正前	改正後
		令和元年度	令和2年度
医療保険分	所得割	8.3%	8.3%
	均等割 (人数)	24,100 円	25,100 円
	平等割 (世帯)	16,200 円	17,000 円
後期高齢者支援金分	所得割	2.7%	2.8%
	均等割 (人数)	7,900 円	8,400 円
	平等割 (世帯)	5,300 円	5,700 円
介護保険分	所得割	1.7%	1.7%
	均等割 (人数)	7,000 円	7,000 円
	平等割 (世帯)	3,400 円	3,400 円

改正後、変更のある保険料負担額は赤字で示す

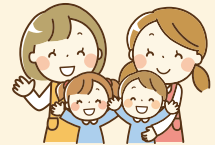
5月の行事予定

- 9日(土) 環境整備デー
- 12日(火) 小児健診
- 16日(土) 高吾地区中央支部体育大会(17日まで)
- 20日(水) 栲原町交通安全の日
- 23日(土) 高知県高等学校体育大会(25日まで)
- 27日(水) 第22回栲原町雲の上杯ゲートボール大会
- 30日(土) 高吾地区中学校総合体育大会(野球)
- 31日(日) 高吾地区中学校総合体育大会(野球・バスケット)

5月の保健福祉支援センター行事予定

- 1日(金) 初瀬いきいき
- 7日(木) 松原サテライト
- 8日(金) あゆみの会
- 11日(月) げらげら家族会
- 12日(火) 小児健診
- 14日(木) 越知面デイ／四万川宅老所
- 20日(水) 東区いきいき
- 21日(木) 四万川宅老所
- 22日(金) 大向宅老所
- 28日(木) 四万川いきいき

- 毎週月曜日 育児サークル(図書館内子育てコーナー)午前10時～12時
※子育て中に限らず、どなたでも参加できます。お待ちしております。
- 毎週水曜日 予防接種(四種混合、麻疹・風疹【MR】、BCG、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン、水ぼうそう、B型肝炎)
※予防接種(MRⅡ期)…11日(月)、18日(月)
- 月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)
※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。
(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)
- ゆすっこ相談センター相談日 19日(火)、26日(火)
※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター☎65-1170までお願いします。



※行事予定は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今後変更となる可能性がありますのでご了承ください。

編集後記

今年の卒業式は、どこの学校も新型コロナウイルスの
関係で無事式ができて時間も短縮等の処置がとられ
た事でしょう。

そんな中、県外の小学校の、卒業文集を見る機会
がありました。きつと、卒業式でみんなが歌うはず
だった歌の詩が、どのクラスのページにも掲載され
ていました。子どもたちの卒業に向けての文章は「未
来の自分へ」「私の夢」「思い出に残ったこと」様々
でしたが、どの文章もとても、しっかりしていました。
中には、とても12歳の文章とは思えないものもあり
ました。成程、なるほど、ふむふむ、とメモを取り
たくなるものもありました。こんな考えの子どもた
ちが大きくなれば、世界は平和になる、と思いました。
小学生時代の6歳から12歳は平和で落ち着いた状
態の成長が見られますが、12歳から18歳の6年間は、
どの子にとっても激動の成長をしていく期間になっ
ていきます。

その時期に、大人たちの整える環境は、どんなも
のなのでしょう、どんな見本を見せてあげられるの
でしょう。

コロナウイルスが終息するころ、世の中はどんな
変化を見せるのでしょうか。

以前、少年鑑別所で長く子どもたちと向かい合っ
て生活された方が、立ち直った少年の話を聞かせて
下さいました。そのきっかけになったことは、幼い
ころ父親と一緒に見上げた星空の思い出だったそ
うです。

現在、どの家庭でもゲーム等、タブレットに向か
う子どもたち(大人もいますか?)に「いい加減に
しなさいよ」「いつまでやってるの?」…という言
葉がかけてられていると思います。

コロナウイルスによって予想外の時間をどう過ご
すのか、親子にとって一生の思い出になるような体
験を考えてみませんか。それはきつと特別なこと
ではなく、些細なことのような気がします。

広報編集委員会

文 芸

烏帽子俳句会

追剥の出そうな道も春となり
 温地あゆみ
 鷹鳩と化す木漏れ日のテラス席
 古野 節子
 白梅や寂聴の談ほつほつと
 下元 澄子
 鷹鳩に化し山小屋に泊まりけり
 ヒネ・バンビ
 春愁は綿菓子の高ふはふはず
 千光寺昭子
 古民家に調律響く梅の花
 宮崎真由子
 鷹鳩と化し退院す外科病棟
 宇都宮由利子
 残照や耕人は手を休めざり
 中越 律子
 蒼天を忘れて鷹は鳩になり
 岩元 美美
 無頼にはなれず一生梅真白
 瀬戸口登實恵
 流された橋まだナビに春の川
 西村 智子
 病める娘を思へば死ぬぬ初桜
 岩井 童子

杉の子俳句会

宅配の荷物戸口に春嵐
 影浦 鉄心
 掛け持ちの僧足早に去る弥生
 西村 幸枝
 「立子忌」や星野と引けば仙一と
 氏原 陽子
 海がつながり空が繋がる春マスク
 掛橋 初子
 青年の恋実りけり水温む
 久岡 智子
 追い越しの合図のバスや春がすみ
 川田 早苗
 黄水仙つぼみ揃えて立ち上る
 西村 蓉子
 無観客やけに行司の声響く
 大崎みなと
 歳時記の端の一行立子の忌
 内野 純子
 立子忌や眼帯外す日となりし
 下元 廣幸
 春炬燵心はいつも野良にあり
 野中 胤雄
 不器男忌のトロッコ列車停まる駅
 明神伊佐子



柚子の木俳句会

無観客の歓声ひびく弥生賞
 西村由利子
 春雷や寝床飛び出し正座する
 西森 誠子
 寒池や水面に映える平等院
 中平 忠雄
 卒業と笑顔の報告桜咲く
 中越 緑
 木戸揺らし家覗きこむ涅槃西風
 中越 郁子
 掬えども半ば跳ね飛ぶ白魚かな
 渡辺 瑞枝
 咳くしゃみコロナじゃないよ鼻炎だよ
 中越 秋子
 どうしよう途方に暮れる涅槃西風
 吉田 敬子
 菜の花を横目に鯉の登りをり
 広瀬 卓雄

川 柳

正座おも 忘れた足に 感謝状
 セニヤカー 九十路の坂の 足となる
 西村 美子 (二句掲載)
 マスクして高値で売ろうと マスクとる
 河野 哲夫

狂 歌

ニューコロナ四輪制すその昔
 五輪をつぶす新型コロナ
 (トヨペットコロナ)
 河野 哲夫

寄 付 の お 礼

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

【広報へのご寄付】

二村 實建 様 (兵庫県)

【ふるさとづくり寄付金】

二村 實建 様 (兵庫県)

【その他のご寄付】

(社会福祉へ)

有澤 美保 様 (安芸市)

故・竹村敬資氏逝去に伴う香典返し

氏原 町子 様 (榛原)

故・氏原邦雄氏逝去に伴う香典返し

●おくやみ

住所	死亡者名	性別	死亡年月日	年齢	世帯主
中 町	西村 花子	女	R2.3.19	93	西村 茂

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています

